



総会を終えて

しながわチャイルドライン代表理事 浅川周二

しながわチャイルドラインは15周年の記念事業も成功裏に終了できました。関係各位のご協力に心から感謝いたします。総会は5月27日(土)に開かれました。

第1号議案2016年度活動報告、第2号議案2016年度収支報告、第3号議案2017年度活動方針(案)第4号議案2017年度収支予算(案)等、全の議案が慎重審議され、採択されました件をご報告いたします。

16年目に入り、しながわチャイルドラインは約80名の大所帯となり、活動をしている人の顔が見えない状態が起り始めています。新しい組織作りの必要性があります。

今年の活動方針は下記の通りです。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1、継続研修に参加する | 2、出前講座の充実を計る |
| 3、外部の活動に参加・連帯する | 4、高校生にもカード配布を実施する |
| 5、事務局体制を強化する | 6、会員は常設以外にもできることに参加する |

1~6の方針に加えて定款の見直し作業も始め、新しい組織作りを目指します。

会員はしながわチャイルドラインの活動を支える各部(運営、事務局、会計、研修、広報、データ、渉外、イオン等)にできるだけ所属し、会の活動基盤を強化し、組織の見える化、そして会員がお互いを知り、コミュニケーションを図る等。これらを今年の活動方針に加えます。どうぞよろしく願いいたします。

~~~~「子どもの声に耳を澄まして」~~~~2016年度の電話~~~~

しながわチャイルドラインで2016年4月から2017年3月までに受けた電話の総本数は4,806件でした。

(2015年=3,830件、2014年度=2,014件)全国のチャイルドライン(70団体)の受信数は186,098件でした。

これは電話をかけてきた総本数の三分の一の受信率です。せっかく電話をかけても話し中でつながらずに、電話をおくケースも少なくありません、「何回もかけてるのに、も〜〜」と、また「やっとつながったよ!」との子どもたちからの苦情も聞きます。まだまだチャイルドラインは回線を増やせるように人材育成や財政確保の努力が必要と痛感しています。

しながわチャイルドラインで子どもと会話が成立した電話は1,442件(男性952件、女性460件、不明=30件)

しながわチャイルドライン電話利用状況 2016年4月1日から2017年3月31日

会話成立内訳(件数の多い順)

環境別	1 学校・フリースクール 338件	2 家庭 139件	3 部活 29件	4 地域 22件
関係性別	1 自分 645件	2 友人・知人 248件	3 親 168件	4 先生 79件
	5 恋人 56件			
事柄別	1 性への関心 317件	2 心に関すること 157件	3 人間関係 156件	
	4 恋愛 103件	5 身体に関すること 90件		
動機別	1 聴いてほしい・つながっていたい 993件	2 何らかの助言が欲しい 276件		
	3 誰かとつながっていたい 72件	4 お試し 38件		
気持ち別	1 不安 208件	2 葛藤・戸惑い 151件	3 困惑・困っている 150件	
(複数回答)	4 うれしい・たのしい 74件	5 怒り・いらだち 66件		

◎2017・しながわチャイルドライン宿泊研修会報告 6月24(土)・25(日) 於)三浦海岸まほろばマイنز

24日15:30~『活かす研』では猪俣さん(マクドナルドハウスと模擬患者活動)・庄司さん(看護師をしてきて考えたこと)・菊地君(アウシュビッツに行ってきた!)の報告をしてもらいました。

・18~20時までは懇親夕食会。歌あり、ダンスありの賑やかな交流タイムとなりました。

・21時~『お互いを知るワーク ありがとうの輪』「ありがとう」という欲しかったエピソードをカードに書き、そのカード引いた方が代わりにありがとうと言う。言われた人の表情が良かったです。

25日朝食バイキングでした美味しいもので、たっぷり充電した後、2日目の研修

・午前は“セッション1”テーマ別に分かれて『性・いじめ・家庭・反社会行動ロールプレイ』

・昼食後“セッション2”テーマ別に分かれて話し合い、そして末松先生に指導していただきまとめ。充実した時間でした。

・夜だけ参加してくれた鈴木君、4月から社会人になり活動をお休み中の堀川さんが、急遽日帰り参加して、盛り上げてくれました。

今回、東京都赤い羽根共同募金会から助成を頂き、参加しやすい料金で設定でき、宿泊28名、日帰り5名、助成を大いに活用できました。来年も有意義で楽しい企画をしたいと思います。是非多くの皆さんの参加をお待ちしています。(研修部 小林)

【参加会員の感想】

●研修2日目午前の研修“セッション1” (Y-A)

小澤先生によるアイスブレイクから始まりました。各人しながわチャイルドラインに対する熱い想いを発表してくれました。

場がいい感じに和んだところで、末松先生によるグループセッションで(A:性 B:学校・いじめ C:家庭・虐待 D:反社会行動)の4グループで、自分が関心のある分野に参加し、そのテーマのロールプレイが行われました。

こういう状況の時、自分ならどう話そうかと深く考えさせられた研修でした。

●研修2日目午後の研修“セッション2” (K-K)

午前にロールプレイなどを行ったテーマについて、より深い話し合いを行いました。グループも再編され新鮮な気持ちで話し合いに参加できました。通常の継続研修と違い時間が豊富にあり、深い議論をしているグループも見受けられました。ただ、前半とメンバーが全て入れ替わってしまったグループもあったようで、前半、そのテーマについてロールプレイしたのに勿体無いと感じました。半分だけ移動するとかでもいいのかと思います。ベテランからは経験に裏打ちされた意見、若者からは、子供に近い存在であるため生まれる意見などが多く、内容としては非常に充実していました。講義形式では無く、小グループによる話し合いであり誰も暇をすることなく自分の考えを発言し、参加できてよかったです。

このように普段より多くの時間を議論できる宿泊研修はお互いの意見を深めるためには非常に有効であるといえるでしょう。

●ポーランドに行ってきました。そこで見たもの、感じたもの ('17・5・15~5・20) (S-K)

『夜と霧』(فرانクル 著)を読んでから一度アウシュビッツに訪れたいと思っていました。そんな中、この本の翻訳者である池田香代子さんと一緒にアウシュビッツ、クラクフを巡るツアーを見つけました。アウシュビッツ唯一の日本人ガイドの中谷さんと池田先生のお話を聞きながらアウシュビッツを歩く、とても貴重な体験をさせていただきました。

学校の授業、関連書籍、ネットの情報…様々な方法であの場所で何があったかを知ることができます。ですが、体験記などの文字で読むこと、死者の数字でみること、遺品を見て確かにそこに人がいたことを感じさせられた時の衝撃は全く別のものでした。ガス室、焼却炉、おびただしい靴や眼鏡…その全てについて語れませんが、特に印象に残っているものについて書きます。

そんな衝撃的な遺品の1つが髪の毛です。収容所では、被収容者の女性たちの髪の毛を切り、布として加工して市場に出していました。布として出荷すれば記録に残るのはただの枚数。記録に「人間」を想起させるものはありません。当時のナチに対して「人を殺す罪悪感はないのか？」という疑問を投げかける人がいますね。人(髪)ではなく物(布)にしたり、実際にガス室に連行する役目を被収容者にさせていたり、人を殺す実感を得ないこのやり方こそがその答えなのでしょう。

私は知りませんでした。過酷な労働を強いられる中で武器を取り、戦うことを選んだ人達がいたことを。「死の壁」は彼らのような被収容者や、反対組織に属していた人達を射殺していた場所です。

『夜と霧』で読んだもの、収容所で見えたものは、悲惨な過去だけではなく、どれだけひどい環境の中であろうと自分で生き方を選択するという自由だけは奪わせなかった人々の生き様もまた、遺産なのだと感じました。

アウシュビッツは人が作り出した地獄でした。そんな場所でも、考えることをやめなかった人がいた。名も知らぬ親子のために自分の命を犠牲にした人がいた。社会の流れがどれだけ強かろうと、自分が正しいと思ったことをした人がいた。アウシュビッツは「負の遺産」です。ですが、人の強さも感じられる場所でした。何が正しいかは私たち一人一人が考えるべきことです。大切なのは考えることであり、どんな行動で自分の正しさを貫くかだと感じました。

ここに立った1人として、どんな道を歩いていくのか 考えていきたいです。

始まります！ 2017年度 第16期受け手・サポーター養成研修



2017年度しながわチャイルドライン 第16期受け手・サポーター養成研修

会場：立正大学11号館6階 全日程19時～21時

あなたも、子どもの心を聴いてみませんか

1	チャイルドラインとは？ どんなボランティア活動なの？	9月28日(木) しながわチャイルドラインスタッフ	開講式
2	「聴く」ということ1 聴くって？	10月5日(木) 東北 TA コミュニティ研究所所長 臨床心理士 末松 渉氏	
3	子どもの人権ワークショップ 人権ってどんなこと？	10月12日(木) NPOの法人および施設 Museum アフタフバーパン代表理事 北島 尚志氏	
4	子どもの貧困の今 貧困のサインとは？	10月19日(木) ニッセイ基礎研究所主任研究員 土堀内 (とつち) 昭雄氏	公開講座 A
5	仲間を知るワーク 学んだ事を振り返り、シェア！	10月26日(木) しながわチャイルドラインスタッフ	
6	子どものからだと心 子どもをより深く理解しよう！	11月2日(木) 日本体育大学教授 野井 真吾氏	
7	いのちの素晴らしさ・性 命の輝きを知ろう	11月9日(木) 明道学園小学校校長 川松 泰美氏	公開講座 B
8	チャイルドラインであなたにできることは 学んだことを活かすには	11月16日(木) しながわチャイルドラインスタッフ	
9	「聴く」ということ2 ロールプレイ「聴く」1 さらに聴くって？	11月30日(木) 東北 TA コミュニティ研究所所長 臨床心理士 末松 渉氏	
10	ロールプレイ「聴く」2 お互いに聴きあう	12月7日(木) しながわチャイルドラインスタッフ	
11	電話で聴くということ ロールプレイ	12月14日(木) 東北 TA コミュニティ研究所所長 臨床心理士 末松 渉氏	終了式



2017年度 しながわチャイルドライン

第16期受け手・サポーター養成研修

会期 9月28日～12月14日 毎週水曜日(全11回)
時間 19時～21時
会場 立正大学11号館6階(1161・1162教室)

対象

しながわチャイルドラインの「サポーター」や「受け手」に、興味のある18歳以上の方
公開講座は、テーマに興味のある方

定員

・サポーター▷自分ができる範囲で、活動を支えたり応援してください
・受け手▷子どもからの電話を受ける方

参加費用

全11回 一般6,000円 学生3,000円(初回に受付でお支払いください)
公開講座のみの場合1回600円

申込方法

下記項目を明記のうえ、メールが往復はがきにてご応募ください
折り返し、お返事をさせていただきます

1. 参加希望講座(名記から選択し明記) 通し参加/公開講座A/公開講座B
 2. 氏名 3. 年齢 4. 郵便番号 5. 住所 6. 電話番号 7. メールアドレス(ご所有の場合)
- ※携帯からお申し込みの際は、パソコンからの送信を受け取るように設定してください

締切

申し込み先着順 通し参加最終締め切り9月19日(火)
※公開講座は、定員に達していない場合のみ、当日会場受付で申し込みいただけます

■申し込み＆問い合わせ先

NPO 法人しながわチャイルドライン事務局
〒140-0011 品川区東大井5-23-24 コーポ楽田203
E-mail sinagawachildline@hotmail.com
TEL&FAX 03(5462)2868
www.sinagawachildline.org

■会場

東京都品川区大崎4-2-16 立正大学
TEL 03(3492)2681
・JR 大崎駅、五反田駅から徒歩5分
・東急池上線大崎立小島駅から徒歩1分
・東急目黒線不動前駅から徒歩13分
http://www.ris.ac.jp/access/shinagawa/

【会場詳細】



18歳までの子どもが、悩んでいることや誰かに聴いてもらいたいことなど、どんなことでも話すことのできる電話で、全国各地にあります。

しながわチャイルドラインは、16周年を迎えます!!

2001年 設立
2005年 毎週金曜日に常設電話室開設
2014年 毎週水曜日に常設電話室開設
毎週80本以上の電話があり、
養成研修を受けたボランティアスタッフが
子どもの話しに真剣に耳を傾けています。

<毎週金曜日>

午後4時～7時 ▷03(5781)8114
午後7時～9時 ▷03(3494)8872

<毎週水曜日>

午後4時～9時 ▷0120(99)7777フリーダイヤル
午後7時～9時半▷03(3494)8872
午後7時～9時半▷0120(99)7777フリーダイヤル

(表面)

(裏面)

◎この研修は全コース参加と公開講座のみの単発参加とあります(どちらも往復葉書またはメールで申込受付中)

◎しながわチャイルドライン会員は全講座、継続研修を兼ねていますので、各自予定して参加してください!

～15期の研修を受け活動に参加しています～
電話を取る度に、様々な話が飛び込んできます。抱き締めてあげたいような話も沢山あります。それが出来ないからこそ、言葉を尽くして、話をとことん聴いています。こんな風に聴けば良かったかなと思う事もありました。それを生かして活動を続けたいと思います。
(Y・Y)

～15期受け手・サポーター養成研修を受けて～
この研修を通して普段の生活でも実践できるようなことを学ばせてもらい本当に充実した講座でした。私は、特に、『性に関する話』がとても印象に残っています。学校での教育の不十分さ、ネットからの正しいか判らない情報があったりで、本当に勉強不足。これまでにない、いい学びでした。(M・W)

*****『24時までキャンペーン』今夏末、九州地域チャイルドライン実施!*****

これに際し回線数不足の問題から、全国のチャイルドラインへの開設応援の申し出がありました。

しながわチャイルドラインでは、8/23・25・30・9/1の4日間、21時半～24時まで実施、延べ26名が担当いたしました。関東までフリーダイヤルの届いた件数は少ないものの、熊本や鹿児島からの電話を受けました。

九州地域のまとめが見えたら、この時期の対応について十分に検討し、今後も困難な状況に置かれている子どもたちの為にできることを出来る範囲で他団体とも協力して対応していきたいと思っております。
(事務局・徳江)

～☆～☆～「しながわチャイルドライン」のホームページ・ブログで活動やお知らせをご覧ください～☆～☆～
 しながわチャイルドラインでは・毎週金曜日 午後4時～9時 ・毎週水曜日 午後7時～9時半 ☎を開設しています



18才までの子どもがかけられる電話

☎ 0120-99-7777

電話代はかかりません。
携帯もOKです。

☎ 月曜日から土曜日 16時～21時
 栃木県・埼玉県・東京都・山梨県・愛知県は日曜日もつながります

ありがとうございます

ご支援者・団体等(賛助会員・ご寄付者様)

平間 早苗	藤井 裕乃	浅川 ハマエ	北島 まりあ	吉田 照子
高橋 潮	本道 秀夫	北島 浩之	山口 清子	高橋 敦子
川口 武宜	下浦 忠治	北島 尚志	東内 一明	甲斐 常逸
岩淵 則子	金子 みゆき	松澤 麗子	中川 治子	谷岸 佳子
酒井 暢子	井上 耕一	川本 祐美子	高野 陽一	米川 宏一
久埜 きし子	市島 志織	瓜生 アツ子	犬塚 悦子	末松 涉
佐藤 明子	山田 巴	河野 祐子	徳江 安子	猪俣 庸子
小管 明	荻原 真帆子	岡崎 和代	入江 杏	山田 由紀子
木崎 都志子	稲塚 由美子	宇佐川 謡子	吉田 啓子	加藤 敬子
小林 明美	田角 恭子	大和 忠	江川 真未	大山 伊玖子
浅川 周二	北條 正子	清水 佳子	野村 絵美	遠藤 芙美子
片山 享子	野澤 澄也	(順不同・敬称は省略させていただきました)		

一般社団法人昭和会館・東京都共同募金会・(株)東京正武堂・イオン(株)・青山ライフ出版(株)
 清子フラスタジオ生徒会・花王ハートポケット倶楽部・花王(株)・東京Ⅲソнда・かんぺ土地建物(株)

☆寄付やカンパでご支援ください☆

～しながわチャイルドラインは正会員費、賛助会員費、寄付金、助成金によって運営が成り立っています～
 全国のチャイルドラインは現在70箇所あります。年間約21万人の子どもたちの☎をフリーダイヤルで聴いています。子どもたちは、どこからでも聴いてほしいことを、無料でかけられます。1年間の電話代の総額は約2千万円になります。全国、連携して365日24時間を目指し、常設場所の確保や財政の確保、回線の増設、電話を受けるボランティアの育成を考え努力しています。
【正会員】 年間6,000円(含学生) **【賛助会員】** 個人 1口2,000円から 企業・団体 1口2,000円から
 振込口座 ゆうちょ銀行 振替口座 00160-5-664278 宛先:NPO 法人しながわチャイルドライン
 会費・ご寄附の用途は◇子どもたちに配布するカード作成費◇フリーダイヤルの継続費◇活動・運営の資金などです



☆チャイルドラインとは☆

チャイルドラインは、18歳までの子どもが、嬉しいこと、悲しいこと、悩んでいることや誰かに聴いてもらいたいことなど、どんなことでも、話すことのできる電話で、全国各地に約70のチャイルドラインがあります。子どもの声に耳を傾け、気持ちに寄り添う、子どもたちの心の居場所です。子どもたちの話に共感し、つながり、子どもたちが安心して育つように活動します。

～しながわチャイルドラインの歩み～

しながわチャイルドラインは16年前に活動を始め、12年前から毎週金曜日に常設開設。一昨年、水曜日にも常設開設しました。毎週100本以上の電話がかかってきて、子どもの話に、真剣に耳を傾けています。取りきれない電話も少なくなく、人材の育成にも力を入れて研修を行っています。増設に向け人材並びに財政の確保にも努力しています。

◎電話の増設が必要です。皆様のご支援、ご寄附等よろしく願います◎

しなチャイメールアドレス
 sinagawachildline
 @hotmail.com